

法人が集落の話し合いに積極的に参加し、作成したプラン

もがみまちひがしほうでん

(山形県最上町東法田地域(H25.3作成、H26.2見直し、H27.3見直し))

《概要・データ》

地域の特徴	山形県東北に位置し、秋田、宮城の両県に隣接する山間地。 土地利用型農業＋畜産農家が多く、最上町では大規模農家が点在する地域。 地域内農家数64戸、地域内農地面積150ha。
中心経営体	個別経営20名（うち認定農業者13名）、法人経営1
出し手となる農業者	0名
農地集積	現状(H27)74.1 ha(集積率49.4%)→目標(H31)102.6ha(集積率68.4%)



〔東法田地域の圃場から集落を望む風景〕

《特徴的な取組》

- ・ 当該地域は基盤整備が進んでいて、他地域に比べて担い手となる大規模経営体が多く、平成25年度に新設された農事組合法人が広く水稻の作業受委託を進めている。
- ・ このため、当該法人と大規模経営体を中心となって集落の話し合いに積極的に参加し、農地の集積を進めて行くことでプランの合意が図られている。
- ・ 畜産が盛んな地域であり、町としても複合経営を推進してきたことから畜産と水稻、露地野菜などの複合経営を積極的に行う大規模認定農業者が多く、プランの話し合いを通して中心経営体に位置付けられている。

《プラン作成・見直しの経緯》

- ・ 平成24年8月 集落座談会で地域内農業者に対する説明会を開催。
- ・ 平成25年2月 集落座談会でプラン原案を検討し内容確認。
- ・ 平成25年3月 プラン作成。
- ・ 平成26年2月 プラン見直し。 ・ 平成27年3月 プラン見直し

(最上町位置図)

